JUDE RAJESH MINISTRIES

「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしよう！」マタイによる福音書4章19節

November 28, 2020

www.juderajeshministries.com

永遠を欲しなさい

この世と、その欲とは消え去ります。ただ神の御心を行う者が、永遠に生きながらえるのです。ヨハネ I 2:17

子どもたちは、つかの間に存在するものと永遠に存在するものを区別できません。物質的なものと霊的なものの区別もそうです。しかし、大人であるわたしたちは、これらの違いを認識しなくてはなりません。すると、世界観もこの世のものに対する執着も変わってきます。重力（万有引力）の法則は世界中で受け入れられていて、地上に存在するものはすべてこの力の影響下にあります。しかし、飛行機や宇宙船のように、別の力を利用して地球の引力を克服することもできます。わたしたちの存在の霊的次元にも、このことが当てはまります。ほとんどの悪の原因は、人間のこの世とその欲にたいする執着にあります。同時に、これらはつかの間のもので、消滅するものですから、ヨハネは次のように諭しています。**「この世と、その欲とは消え去ります。ただ神の御心を行う者が、永遠に生きながらえるのです。」（ヨハネ I 2:17）**イエス様も、この霊的次元に働く善の引力について明かされました。それは、人が、聖霊の力に引かれ、この世にありながら世の者と異なり、主の教えの証人となるために作用する力です。**「あなたがたが世の人と同じであったら、世もあなたがたを愛したでしょう。だが、そうではありません。わたしがあなたがたを選び、世から連れ出したのです。だから、世はあなたがたを憎むのです。」（ヨハネ 15:19）** わたしたちも、永遠なるものを欲し、この世の欲を克服し、地上に生きながらも、この世のものに対する関わり方を変え、創造主であられる神様を喜ばせ、生きていくことができますように。

天のお父様、永遠のもの、霊的な引力を欲するようにと諭して下さり感謝いたします。聖霊様が、この世の魅惑からわたしを守り解放し、主に完全に服従できるようにしてくださいますように。イエス様のもっとも力強いお名前によって、アーメン。

美しさについての警告と助言

あなたがたの装いは、編んだ髪や金の飾り、あるいは派手な衣服といった外面的なものであってはなりません。1 ペテロ 3:3

道路標識は、わたしたちを操作したり、運転する自由を奪う目的で設けられたものではありません。そうではなく、わたしたちを、起こりうる危険から守るためのものです。同様に、聖書は、わたしたちが自らの尊厳を守るためには、どのような衣装や装飾で公的な場に現れるべきかについて警告しています。とりわけ、どの時代に暮らす女性にも該当する、女性の尊厳を守るための大切な助言があります。「**あなたがたの装いは、編んだ髪や金の飾り、あるいは派手な衣服といった外面的なものであってはなりません。**」（1 ペテロ 3:3）現代社会では、女性たちが一生懸命働いて貯めたお金と貴重な時間の多くが、ファッションやビューティー産業により奪われています。それらの産業は、金銭目当てで、女性たちに特定の美の規則を当てはめ受け入れさせ、女性たちの後を追い、さらには服従させることで成り立っています。第一の使徒であるペテロは、このような外面の美しさではなく、内面の美について述べ、女性たちに内面の美を追求し誇りにするようにと勧めています。なぜならば、内面の美しさこそ、創造主であられる神様を喜ばせるものだからです。「**むしろ、やさしく、おだやかな心の持ち主となり、いつまでも色あせない魅力で、自分の内面を美しく飾りなさい。これこそ、神の目に価値あるものです。**」（1 ペテロ 3:4）聖人ペテロのこの助言に従うには、知恵と理解力が必要です。わたしたちは、内面の美を追求することの大切さを確信し、女性を情欲と欲情の対象とし、その品位を落とすような現代の文化を無視しましょう。

天のお父様、現代文化に特徴的なファッションやデザイン産業の悪から身を守るようにと警告してくださり感謝いたします。聖霊様が、あなたが望まれ評価される内面的な美の大切さを、わたしが理解できるように導いてくださいますように。イエス様のもっとも素晴らしいお名前において、アーメン。

www.juderajeshministries.com
September 11, 2018

わたしたちの隠れたアイデンティティ

あなたがたは知りなさい、いったいどれほどの愛を父が私たちに賜って、私たちが神の子供たちと呼ばれるようにしてくれたことか。そしていま現に私たちは〔神の子供たち〕なのである。このゆえに世は私たちのことを知らないのである。なぜなら世は彼のことを知らなかったからである。*1ヨハネ 3:1*

地球に暮らす人間は、自らの属する国や出身地の地理的境界によって分類され、アイデンティティを付されます。また、各自が受ける他の人びとからの対応も、出身国やその同盟国の政治的・経済的力によって決定されます。パウロは、地球も含めた銀河系の創造主である神様が、わたしたちに相続権をくださった超自然の血統と国籍について述べています。「**あなたがたは知りなさい、いったいどれほどの愛を父が私たちに賜って、私たちが神の子供たちと呼ばれるようにしてくれたことか。そしていま現に私たちは〔神の子供たち〕なのである。このゆえに世は私たちのことを知らないのである。なぜなら世は彼のことを知らなかったからである。**」（**1ヨハネ 3:1**）天国に属する神の子どもたちについて、この世界が無知なのは、神様についての知識がなく、神様が存在するということを知らないためです。このことについては、既にイエス様が地上にいらしたときにおっしゃいました。それは、イエス様が天国に属すること、神様の御子であられることについて無知であった人間たちから受けた迫害のご経験からでした。「**あなたがたが世に属していたなら、世はあなたがたを身内として愛したはずである。だが、あなたがたは世に属していない。わたしがあなたがたを世から選び出した。だから、世はあなたがたを憎むのである。...しかし人々は、わたしの名のゆえに、これらのことをみな、あなたがたにするようになる。わたしをお遣わしになった方を知らないからである。**」（**ヨハネ 15:19, 21**）わたしたちは、この世界の人びとから受ける迫害によって落胆することがないようにしましょう。そのようなひどい待遇こそが、彼らが神様を知らないこと、また、わたしたちが属する国が天国であることを明かしするものだからです。そこで、わたしたちには、親切さと同情をもって、世の人びとをより良い方法で教育する責任があるのです。

天のお父様、あなたの家族にわたしを養子として受け入れてくださり感謝いたします。聖霊様が、わたしが天国の国籍に相応しく行動し、まったく天国について無知な人たちに同情をもって接することができるようお支え下さいますように。イエス様のもっとも偉大なお名前において、アーメン。

主の介入を求めなさい

あわてふためいた王は、主の助けを仰ぐよりほかないと判断し、全国民が神の前に悔い改め、断食して祈りに打ち込むよう命じました。歴代誌Ⅱ 20:3

子どもたちの観察を通して、わたしたちは、人生の霊的次元で実践すべき多くの原則について学ぶことができます。必要の一つひとつについて、または

恐れを感じたとき、不快な時、子どもたちはすぐに親のところにやってきて、報告し、命じられた通りに状況に対応します。そして、そういった信頼し頼るという態度と引き換えに、多くの安心と安全を与えてもらいます。みことば（聖書）にも、わたしたちが模範とすべき素晴らしい事例があり、ヨシャファトに関するものがその一つです。敵の軍勢が大量に攻め込んできているという報告を受けたヨシャファト王は、恐れ、すぐに神様のところに国民とともに走り寄りました。ちょうど、子どもが愛する両親にするようにです。そして、自分の神様への依存を宣言しました。**「あわてふためいた王は、主の助けを仰ぐよりほかないと判断し、全国民が神の前に悔い改め、断食して祈りに打ち込むよう命じました。」（歴代誌Ⅱ　20:3）**そして、こころから叫びました、「神よ、彼らの来襲をとどめてください。私たちには、このような大軍から身を守るすべなどありません。どうしたらよいのか見当もつきません。ただあなたに助けを求めるばかりです。」（歴代誌Ⅱ　20:12）そして、神様の命令のすべてを実践に移したとき、敵に対して信じられないような勝利を獲得しました。わたしたちも、このような信仰と主への依存を習得しましょう。そうすることで、霊的次元において、反対しているすべての勢力に対して、わたしたちに勝利を獲得することができるのです。

天のお父様、ヨシャファトの例を提示して下さり、わたしにそれに倣い従うようにと命じてくださり感謝いたします。わたしがあなたをつねに求め、困難なときに走り寄り、命令を頂き従うことができるよう、聖霊様が導いて下さいますように。イエス様のもっとも信頼に値するお名前において、アーメン。

www.juderajeshministries.com
September 6, 2018

毎日の礼拝の稽古

毎日、神殿で礼拝をし、聖餐の時は、少人数に分かれてめいめいの家に集まり、心から喜びと感謝にあふれて食事を共にしました。使徒 2:46

毎日繰り返し行われる行為は、個人の人生や共同体の存続のために大変重要です。自分の専門とする分野で優れた業績をおさめるためには、目標達成のために、熱意に適った日々の努力が欠かせません。

芸術や文学、音楽やスポーツ、そしてどんな仕事であっても、時間の投資と規律正しい稽古が必要となります。人生の精神的、霊的成長にもまた、これらが欠かせません。初期の信者たちの指導者は使徒たちでした。彼らの習慣や行動、聖なる晩餐は、次のような特徴を持っていました。「**毎日、神殿で礼拝をし、聖餐の時は、少人数に分かれてめいめいの家に集まり、心から喜びと感謝にあふれて食事を共にしました。**」（**使徒 2:46**）キリストの証人としての彼らの生活の力の源には、次の３つの秘密がありました。⑴毎日の神殿での礼拝、⑵めいめいの家での日々の晩餐、そして⑶喜び感謝しながら食事を共にすることです。預言者ダニエルの日々の規則正しい礼拝の習慣は、彼の信仰を敵視する人びとから反感を買い、最終的にはダニエルの破壊を狙った者たちが自滅に至りました。「**ところが、ダニエルはそのことを知りましたが、家に帰るといつものように、二階の寝室でひざまずきました。エルサレムの方角の窓を開けて、彼は一日に三度、神に祈り、感謝をささげていたのです。**」（**ダニエル 6:10** ）信仰の敵は、儀礼やわたしたちの定期的な敬神を気には止めません。それらは効力を持たないからです。しかし、毎日の規則正しい礼拝の習慣は、彼らがもっとも恐れるものです。初期の信者たちを力づけた、彼らの礼拝についての指針に従うことができるこころを、神様がわたしたちにお与えくださいますように。そして、宣言する福音の証人として生きることができますように。

天のお父様、初期の信者たちの行いを見習うようにと、みことばをお与えくださり、力づけてくださり感謝いたします。聖霊様が、わたしが毎日の礼拝の稽古において敬虔であるようにお支えくださいますように。イエス様のもっとも偉大なお名前において、アーメン。

人から認められることの必要

しかし、バルナバは違いました。パウロを使徒たちのところへ連れて行き、一部始終を彼らに説明しました。 使徒 9:27

人間誰にも共通する必要の一つに、人から認められ、理解され、評価され、支持され、そして勇気づけられることの必要があります。ちょうど人からの同情や、みずからの人間性を集団や共同体から保証されることの必要と同様に、この必要は他の何にも変えられません。パウロもまた、復活したイエス様に出会い、まったく新しい不思議な、言葉にできない体験をした後、使徒たちから認められることを必要としていました。しかし、使徒集団はパウロの回心を疑い、彼の過去の行動ゆえに恐れていました。

パウロに近づき話を聞く勇気を持っていたのはバルナバでした。そして二人の間に友情が生まれ、バルナバは使徒たちに、パウロを認め、理解し、その回心を正しく評価するようにと、パウロのために訴えました。**「しかし、バルナバは違いました。パウロを使徒たちのところへ連れて行き、パウロがダマスコに向かう途中で主にお会いしたこと、また、主がパウロに語られたことばや、ダマスコでパウロが、イエスの名によって力強い説教をしたことなどを一部始終を彼らに説明しました。」（使徒 9:27）**わたしたちも、神様の子どもや主の僕の誰一人に対しても、認め、承認し、勇気付けることを怠らないようにしましょう。そうすることで、彼らの使命は確立され、主の王国のための彼らの活動が拡大するからです。

天のお父様、人が認められ支持され、そして勇気づけられることを必要としていることを、わたしに気付かせてくださり感謝いたします。勇気づけを必要とする人を、一人も逃さず勇気付けることができるように、聖霊様がわたしに十分な力と寛容さをくださいますように。イエス様のもっとも支えとなるお名前において、アーメン。

生きることの選択

生きるほうを選ぶべきです。申命記 30:19

人生において選択はもっとも大切なものです。というのも、選択がわたしたちの人生を決定づけるからです。わたしたちは選択を好みます。それは、着る服や色を選ぶことであったり、自分の舌にあった食べ物を選ぶことであったり、教育や憧れの仕事の選択であったり、読む本や観たい映画の選択であったり、友人や人生のパートナーの選択であったりです。実に色々な選択をしています。わたしたちをもっとも愛して下さる神様は、わたしたちに、選択には十分に注意をするようにとおっしゃいます。「**さあ、天と地が証人です。どちらを選びますか。生きることですか、それとも死ぬことですか。祝福ですか、のろいですか。もちろん、あなたのためにも子孫のためにも、生きるほうを選ぶべきです**」（**申命記 30:19**）。選択においてもっとも難しい点は、わたしたちな何が本当によいもので、なにを選択すべきかを知ることです。そのためには知恵が必要です。神様が、わたしたちが正しいもののみを選択することができ、いのちと祝福を頂くことができるように、わたしたちに十分な知恵と理解をお与えくださいますように。

天のお父様、善いものを選ぶための知恵をわたしにお与えくださり感謝いたします。聖霊様が正しい選択のために、知恵をお分けくださいますように。イエス様のもっとも信頼できる導きのお名前において祈ります、アーメン。

与えられた使命

主に仕えたために、今こうして牢獄につながれている私からお願いします。このようにすばらしい神の祝福を受けるために選ばれたあなたがたは、それにふさわしく生活し、行動してください。エペソ 4:1

この宇宙は神様により造られました。宇宙に存在するすべてのものと、人間を含めた、すべてのいのちある生物には、それぞれの特質が与えられています。これらの特質ゆえに、それぞれ備え持った機能があります。太陽や月、星、地球、海、植物、そしてすべての生き物は、特徴となる性質があり、それぞれに与えられた責任と守るべき決まりがあります。同様に、何億人もいる人間の中で、わずかな人間にだけ、神様の子どもの模範として生きるという使命が与えられています。それらの人の生き方を、他の人たちが見て、憧れ、模範として生きることができるようにです。そこで、自分にはキリストの子として生きる使命が与えられていると考え、その使命の重大さを感じている人は、それに従い、その通りに生きなくてはなりません。なぜならば、その人の生き方は、家族や周囲の人間、そして社会全体に大きな影響を与え得るからです。パウロは、信じるものたちに、この使命の重大さについて述べています。

「**主に仕えたために、今こうして牢獄につながれている私からお願いします。このようにすばらしい神の祝福を受けるために選ばれたあなたがたは、それにふさわしく生活し、行動してください。**」（**エペソ 4:1**）人間は概して模倣することを好みます。だからこそ、わたしたちの家族の中に、模範となる人物が必要で、その存在が良い影響をつくり出します。老人たちもそうです。パウロは、彼らの使命についても、持ち備えるべき性質を列挙し、次のように述べています。「**老人たちには自らを制し、謹厳で、慎み深くし、また、信仰と愛と忍耐とにおいて健全であるように勧めなさい。**」**(テトス 2:2)** 神様は、世に良い影響をもたらすために、わたしたちに使命と責任を授けてくださいました。それに従い、神の国の光を宣べ伝えることができるよう、神様が恵みをお与えくださいますように。

天のお父様、わたしの使命について思い起こさせてくださり感謝いたします。聖霊様がわたしを教え導き、神様の目的を達成するために、わたしが歩むべき道を示してくださいますように。イエス様のもっとも偉大なお名前において、アーメン。